

ほうりん

2021. **3**
March



今回の内容は

- ◆ 挨拶
- ◆ 住職のひとりごと
- ◆ 妙善寺トピックス
- ◆ 妙善寺非僧非僧 (ひそひそ) 話
- ◆ 今後の行事予定
- ◆ 各種お知らせ

vol, **7**

我れ称え 我れ聞くなれど 南無阿弥陀仏

つれてゆくぞの 弥陀（親）の呼び声

原口 針水和上

妙善寺ご門徒の皆様、有縁の皆様、日頃より妙善寺の護持運営にご協力いただきましてありがとうございます。昨年3月3日に、ご本山、西本願寺ご門主より住職の辞令を賜り、一年が経ちました。この一年はコロナ禍ということもあり、困難を極めた一年でありました。新住職としても、不十分な姿であったと思いますが、引き続きのご支援、ご協力をお願いいたします。

先日、葬儀に伺った折りに、司会の方から「このようなご時世ですので、ご会葬のかたにお念仏をお称え頂くのを控えるように、ご案内してもいいですか？」とのご相談がありました。何とも寂しい事ですが、葬儀社の方々の感染対策に「けしからん」とケチをつけるつもりもありませんから、「仕方ないですね」と、お応えしたことでした。

そこで、お念仏を称えるとは何ぞやと、あらためて考えてみます時に、最初にあげた原口針水和上（和上とは位の高い僧侶に対しての呼び名）のお言葉を思い出しました。私の口から出る「南無阿弥陀仏」のお念仏、周りのお同行の口から聞こえる「南無阿弥陀仏」のお念仏は、阿弥陀さまのお呼び声であるぞと、聞かせていただくのです。「必ず救う、我にまかせよ」という、阿弥陀さまのお慈悲のはたらきが、「南無阿弥陀仏」という呼びかけとなって私に届いているのです。

最近、新発意が「パパ」と呼んでくれるようになりました。やっぱり「ママ」の方が随分と早かったですが、それでもとても嬉しいものです。お恥ずかしいですが、子どもの前で「ぜん君のパパですよー！」と何度、声かけをしたことか、..その甲斐があったというものです（苦笑）。子どもにしてみれば、いつも近くにいる、自分一人では生きていくことのできない命を、あずける（ゆだねる）ことのできる存在として親のことをみているのでしょう。さみしいときも、楽しいときも、おなかがすいた時も、「ママ」「パパー」と声を上げてくれます。私は、その声を聞いて、やっと親としての自覚が少しばかり備わる程度ですが、阿弥陀さまは違います。



すべての衆生を救うというお誓いのもと、長きご苦勞を重ね、私たちの御親として、「我が名を呼んでくれ、決して一人にはしない、必ず救うぞ」とはたらきかけてくださる。「南無阿弥陀仏」というお名号が、長き時を越えて、私のもとに至りきて、私の口から声となって発せられているのです。お念仏は決して呪文ではありません。称えながら、この私を救うという阿弥陀さまの呼び声を聞かせていただき、この私に阿弥陀さまのお慈悲が届いていることに、手が合わさり、頭が下がる身にさせていただくのです。もちろん心の中でお称え頂いても構いませんので、共々にお念仏申すことを大切にさせていただきます。

合掌

住職のひとりごと



① 最近、お墓じまいや仏壇じまいのご相談が増えたなあ。。。。

最近様々な事情から「墓じまい」「仏壇じまい」「永代供養」といったご相談をいただくことが増えてまいりました。もちろん、引き継ぐ方がないなど、そうせざるを得ないご事情をお持ちのご家庭もあるのですが、そのなかには残される家族に迷惑はかけたくないという想いをお持ちの方もいらっしゃると思います。

しかし、私たちは誰にも迷惑をかけずに生きることなどできず、大なり小なり周りとの関係性の中で生きています。仏教では、そのことをおかげさまと頂きます。念仏者は「おかげさまと生かされて、ありがとうと生き抜く」のです。家族との別れや、ご先祖を通じて仏縁に出遭うことは、そのような自らの命のあり方に出遭うことでもあります。迷惑をかけたくないという想いが、かえってご家族が自らの命に向き合う機会を、奪うことになるかもしれません。

誰もがそうであったように、はじめから、完璧に仏事ごとをこなせる人などいないでしょう。我が身に降りかかってきて、はじめて自覚するのだと思います。どうぞ、一度ご家族内で、仏事の事ご先祖の事、お話をしてみたいかがででしょうか。皆さんが危惧する状態よりも、もっと前向きな意見が聞けるかもしれませんよ。

② ううう、、休みが欲しい。。

父である先代住職が一線を退いて2年余りガムシャラに今できることに向き合っていました。振り返ってみると一日もお寺を空けることがありませんでした。(厳密には住職補任式で京都に一泊しましたが)それまでは、毎日のように飲んでいたお酒も、いつ何時でも対応できるようにと、ほとんど口にすることもなくなりました。お酒に関しては、飲まなくても案外平気なのですが、気持ちをリフレッシュする意味でも年に一度だけでもいいので休みが欲しいなど、考えている今日この頃です。

あらためて考えると、先代住職は、祖父が亡くなってから、私が僧侶として帰ってくるまでの数十年をそのような状態で過ごしていたと思うと頭が下がります。

たしかに、自分の子どものころを振り返ってみても、父と一緒に旅行したとかいう記憶もありませんし、参観日や運動会にも来てくれたことはなかったと思います。父兄参観には、隣のおじちゃんが来てくれていました。笑

私は、新発意を同じ境遇にはしたくないですし、出来れば年に一度だけでも、家族の思い出をつくるお時間を頂ければなと思っています。

幸い、田代組には、頼もしいご住職や若院さん達がいらっしゃいますし、緊急の場合はお互いに助け合う互助会のような形が取れば良いなど妄想しています。ぜひぜひ、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

妙善寺トピックス

除夜会・修正会

本年の除夜会はコロナの影響もあり、鐘楼を自由解放して各々で鐘を撞いていただくという形で行いましたが、そのような中にも多くのご参詣をいただき、ありがとうございました。
本年はまた、例年通りの形で賑やかに開催できるよう願っております。



御正忌報恩講

有田町西光寺、立花聡師を講師にお迎えして、1月14日から16日にかけて、御正忌報恩講を勤修いたしました。

コロナ禍で迎える御正忌報恩講ということで、例年行う餅つきやお華束づくり、婦人会の皆様お手製のお齋の振る舞いなどが出来ない中でしたが、皆様のご協力の中に無事三日間の法要を勤修することができました。お手伝いいただいた皆様、ご参詣いただいた皆様ありがとうございました。

今回、お齋の代わりにおからパウダーを使った精進レシピを準備いたしましたがお試しいただけたでしょうか？お試しいただけた方はご感想を教えてください。また、近日中にHPにレシピを掲載いたします。



親鸞聖人のお飾り



ご講師：有田町 西光寺 立花聡師



年に一度の仏具のおみがき

妙善寺トピックス

お寺の掲示板



1月「鬼滅の刃」より

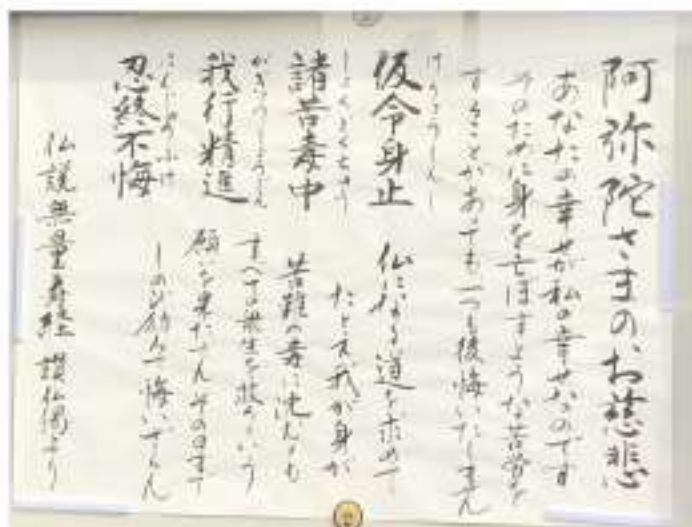
境内地にある掲示板を月に一度のペースで張り替えています。簡潔で分かりやすく伝わる言葉を考えることは難しいですね。ついつい、人様のことばに頼ってしまいます。

1月の言葉は、大人気の「鬼滅の刃」のなかより煉獄杏寿郎さんの言葉を拝借しました。「生老病死」に向き合い、儚い命だからこそ美しいというセリフは心に響くものがありました。

2月は、讃仏偈より阿弥陀さまの私を必ず救うというお覚悟のことばです。

3月は、私から見て曾おばあさんにあたる妙善寺第16世坊守、菅原マサキの辞世の句を紹介させていただきました。

HPの住職日記にて掲示板の言葉は詳しく説明させて頂いております。



2月「讃仏偈」より



3月「菅原マサキ辞世の句」より

妙善寺整備状況報告

①境内地夜間照明設備新設

ご参詣の皆様が夜間にお参りしやすいように、境内地の照明設備を修繕及び新設いたしております。春のお彼岸の時には、おおよその工事が終わるように進めておりますので、今しばらくお待ちください。

②納骨堂照明の整備

妙善寺納骨堂は建て増しのため、照明のスイッチが分かりにくくご迷惑をお掛け致しておりました。この度、すべての個所の照明を入口横のスイッチにて一括管理ができるように整備いたしております。こちらも春のお彼岸には整備を完了いたします。

シンボチ「然」の成長期

おかげさまで、ゼン君、元気に成長中です！
 しかし、4月から入園を予定していた保育園に落選してしまいました。
 何とか空きが出るといいですけど、なるようにしかならないですもんね。
 そんなゼン君、本堂でお参りの時に皆さんに聖典を配るのが、楽しいよ
 うです。それとも、ご褒美のあめ玉目当てかな？苦笑
 ゼン君ともども、お寺で皆様のお越しをお待ちしております！



大雪の日に お散歩♪



少し遅れただけで2歳の記念に
写真館デビュー♪



将来はお坊さんか？サカンの選手か？

あれ！？お浄土のお荘厳？それともクリスマスツリー？

12月下旬から除夜会までの間の期間限定で、本堂のお荘厳をいつもと違うお飾りにしておりました。時期が時期ですのでクリスマスツリーですか？とお尋ね頂きましたが、クリスマスツリーではありません！白状しますと確かに、使ったものはクリスマスツリーにつかう飾りですが、これは「七宝樹」というお浄土のお荘厳なのです。

お浄土には、金(こん)・銀(ごん)・瑠璃(るり)・瓊瑤(はり)・磤磤(しゃこ)・赤珠(しゃくしゅ)・碼碯(めのう)の7種の宝石があり、その宝石で飾られた木々が生き茂っています。

「清風宝樹をふくときは いくつかの音声いだしつつ

宮商和して自然なり 清浄薫を礼すべし」

美しい木々の間を清らかな風がそよぐとき、響き渡る音色は、たとえいがみ合う不協和音の音同士でも妙なる和音へと変えていく。いがみ合うものを拜み合う姿に変えていく阿弥陀さまのはたらきを宝樹から教えていただきます。本日の結論、物は言いようです。ごめんなさい。



今 後 の 行 事 予 定

春 季 彼 岸 会

3月18日(木)~20日(土) 午後1時30分~3時

晩座 19日(金) 午後7時30分~9時



感染症予防のため、ご参詣の皆様は、
マスク着用、手指消毒にご協力ください。

一昨年、行いました日替わりのご講師によるリレー法話を本年も行います。ご講師は前回同様、田代組の若手僧侶の皆さんです。

18日昼:藤木町千福寺若院 中原唯明師 19日昼:姫方町戒円寺若院 佐藤好範師

19日夜:酒井西町遍照寺住職 毛利大慶師 20日:水屋町正行寺若院 大石憲親師

お 盆 に つ い て

お盆については、次回の寺報(7月発刊)にてご案内いたします。なお初盆を迎えるご門徒様には5月の初旬に、日程等のお伺いをさせていただきますので、今しばらくお待ちください。なお、本年も遍照寺ご住職にお手伝いいただく予定です。

秋 季 彼 岸 会

9月21日(火)~23日(木) ご講師:伊万里賢海寺 西暁浩師

※最終日の9月23日にあわせて、住職継職奉告法要を予定しております。詳細は今後、総代役員の皆様と協議し決定いたします。

田 代 組 巡 番 大 法 要

令和7年(2025年)3月28日(金)~31日(月) 妙善寺にて

ご講師:福岡市早良区 徳常寺住職 紫藤常昭師

※延期になっておりました妙善寺においての巡番大法要の日程が決まりました。内容につきましては、今後協議いたします。

妙善寺より皆様へのお知らせ

花まつり・降誕会
中止のお知らせ

令和3年度の花まつり(お釈迦様のお誕生日)
降誕会(親鸞聖人のお誕生日)につきましては、
協議の結果、どちらも中止とさせていただきます。
来年以降、再開できるよう準備してまいりますの
で、よろしくお願いいたします。

なおご家族内に小学一年生となられるお子様、
お孫様などいらっしゃいます方は3月の内にお寺
まで、お子様のお名前、性別、保護者のお名前
等、お知らせください。ささやかなお祝いを送らさ
せていただきます。

妙善寺 お稽古のご案内

書道教室

毎週火曜日 13:30~17:00
お月謝:2,000円
初回の見学・体験は無料です。

ヨガ教室

月2回金曜日開催
9:30~10:30
会費:1回500円

※ご興味のある方はお寺まで
お気軽にお問い合わせください。

妙善寺HP開設のお知らせ

令和3年も新型コロナウイルスの感染状況により予定していた行事が中止、延期となることも想定し
なければなりません。なかなか、個別にお知らせをすることが難しい場合もございますので、皆様にい
ち早く情報を発信するために、以前お知らせいたしました新たに開設した妙善寺HPを活用してまい
ります。

パソコンやスマートフォンで「妙善寺 鳥栖」で検索していただきますと、上位に出てきますので、ぜひ
ご活用ください。下記のQRコードでも読み込めます。

浄土真宗本願寺派 宝林山 妙善寺

〒841-0051 佐賀県鳥栖市元町1073

住職 菅原 賢史

TEL:0942-82-2816

FAX:0942-82-9669

メール:hourin@myouzenji-tosu.com

HP:https://myouzenji-tosu.com/

